

あんじょう 市議会だより

3月定例会

議員定数を2人削減
次期一般選挙から28人に



議員の定数を定める条例改正の採決の様子

3月定例会のあらまし

平成26年第1回安城市議会定例会を3月4日～24日に開催しました。提出された「平成26年度安城市一般会計予算」、「議員の定数を定める条例の一部改正」など46案件を原案どおり可決したほか、報告案3件が報告され、同意案3件を同意しました。

5日の代表質問、7日・10日の一般質問では、14人の議員が市政の各方面にわたり質問しました。

本会議の詳細な内容は、市公式ウェブサイトの「市議会のページ」または6月上旬から市役所市政情報コーナー・中央図書館に設置する「会議録」をご覧ください。

目次

- 2 主な議案
- 3 主な議案の審議、委員会の審査
- 5 議案などの審議結果
- 6 代表質問のあらまし
- 8 一般質問のあらまし
- 11 行政調査報告
全議員研修会を開催
全員協議会・委員会などの活動状況
- 12 議員定数2名減の28人に
6月定例会の開催予定ほか

主な議案

議員の定数を定める条例の一部改正を可決

議員提出議案で提出され、議員定数を現行の30人から28人に2人減員するものです。次の一般選挙から施行します。

※12ページに関連記事があります。

平成26年度当初予算を可決

平成26年度当初予算規模は、一般会計では、前年度比8.2%増の618億となり、平成20年度当初予算額596億9000万円を超え、過去最大の予算規模となりました。また、一般会計、各特別会計、水道事業会計を合わせた全体予算額は、前年度比7.2%増の992億8500万円となり、これも過去最大規模です。※詳しい内容は、広報あんじょう4月1日号をご覧ください。

平成25年度3月補正予算8億7100万円余を増額

一般会計では、総額11億2700万円余を増額しました。人件費の減額や事業費の確定による不用額などの減額と、基金への積立などの増額をしました。

主な議案の審議

3月11日の本会議における議案質疑の一部を要約して掲載します。

■平成26年度一般会計予算

●総務費
問 みらい創造研究所のテーマは、次期総合計画と幸福度に関する研究以外ではどのように選定しているのか。また、アンケートの内容と時期は。
答 人にやさしく、全ての人が社会に参加しやすい環境を整えるとともに、賑わいにあふれた都市基盤を形成し、豊かで幸せな長寿社会を実現する新たなまちづくりや、すでに減少を始めている年少人口の確保などのテーマから政策実行性の高いものを選定する。アンケートは、研究テーマに合わせてできるだけコストをかけず、これまで培ったネットワークを生かして実施する予定。

●民生費

問 地域支援活動センター事業委託料で1600万円とあるが、委託する法人と事業所の場所は。また、利用時間および対象者は。
答 精神に障害のある方にサービスを提供している社会福祉法人ぶなの木福祉会に委託する予定。朝

また、特別会計9会計と水道事業会計の合計で2億5500万円余を減額しました。

歳出の主な内容は次のとおりです。

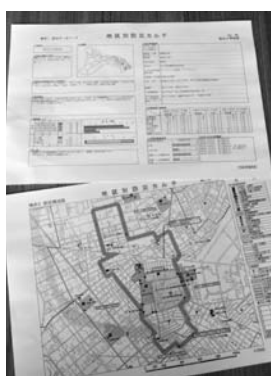
■一般会計

- 総務費 5億5700万円余増
 / 公共施設保全整備基金積立金などの増額
- 民生費 1億8200万円余減
 / ねたきり高齢者等支援事業、老人保護措置事業などの減額
- 衛生費 7500万円余減
 / 予防接種事業などの減額。健康診査事業、清掃施設整備基金積立金などの増額
- 土木費 3億6300万円余増
 / 道路施設維持管理事業、南明治第一土地区画整理事業、住宅市街地総合整備事業、新田・飛越住宅耐震補強工事費などの増額
- 消防費 1億200万円余減
 / 東海・東南海・南海地震被害予測調査委託料などの減額。防災ラジオ購入費の増額
- 教育費 6億8500万円余増
 / 小中学校トイレ改修工事費、市立学校施設整備基金積立金などの増額
- 桜井駅周辺特定土地区画整理事業特別会計
 1億9400万円余減
 / 桜井施設

日町の空き店舗を利用し、時間は火曜日から土曜日の午前10時から午後5時30分を予定。精神障害者保健福祉手帳を持っている方と、心の病の方が対象者となる。

●消防費

問 東海・東南海・南海地震被害予測調査委託料が850万円計上され、平成25年度より100万円増額されているが、その内容は。
答 被害予測の内容変更はないが、市内全域の被害予測と同時に地域ごとの被害予測などを取りまとめた防災カルテの策定を予定している。小学校区で作成することで身近な内容となり、防災・減災に結び付くと考えている。



他市の防災カルテ

委員会の審査

各常任委員会での審査結果と質疑の一部を要約して掲載します。

総務企画常任委員会

3月18日、審査を託された部設

整備事業などの減額。物件移転補償・道路築造工事費(国の経済対策)などの増額

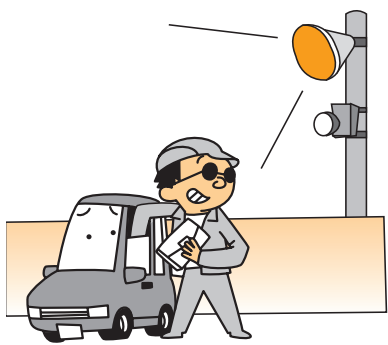
部設置条例の一部改正

みらい創造研究所の新設

政策の調査および研究体制を整え、安定した行政運営を推進するため、「みらい創造研究所」を新設しました。

防犯カメラの設置及び運用に関する条例の制定

防犯カメラを有効に利用した安全に安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与するとともに、市民などの権利利益の保護を図るものです。



特定事業契約の締結

中心市街地拠点整備事業を民間の資金などを活用したPFI事業

置条例の一部改正など9議案を審査し、原案どおり可決しました。

■部設置条例の一部改正

問 みらい創造研究所を設置し、部とすることで、これまでどどのように変わるのか。
答 既存の部から独立した組織となり、これまでの行政の考え方にとられることなく、中立的な立場から政策提言ができるようになることを考えている。また、所長である副市長からの指示・命令系統を簡潔にしたことで、状況に応じた機動的な対応も可能になる。

■平成26年度一般会計予算

問 先端企業立地促進基礎調査業務委託について、目的と内容は。また、その結果をどのように施策に生かしていくのか。
答 自動車関連産業の構造転換や次世代産業の創出など、将来の産業構造の変化を視野に入れた今後の企業立地施策を考える第一歩としての基礎調査であり、本市の企業立地の可能性の検討や企業側ニーズ分析、企業立地に支障となる要因を把握する。調査結果を踏まえて具体的な企業立地施策を検討する。

問 3年間実施した事業仕分けは平成25年度で終了するが、平成26

で実施するものです。情報拠点施設・広場・公園・駐輪場の設計・建設・維持管理などを行う内容で、契約金額62億5320万円。安城情報拠点施設サービス株式会社と事業契約の締結をするものです。



中心市街地拠点施設イメージ

副市長の選任

3月31日に任期満了となる新井博文氏の後任に、引き続き同氏を選任することに同意しました。

監査委員の選任

5月11日に任期満了となる稲垣靖氏の後任に、中村誠一氏(新田町)を選任することに同意しました。

教育委員会委員の任命

3月31日に辞職する本田吉則氏の後任に、杉山春記氏(里町)を任命することに同意しました。

年度以降、行政の外部評価をどのように行うのか。

答 事業仕分けで得られた「公開」「市民参加」という視点を取り入れた行政評価をしていく。評価委員として、有識者や市民活動団体に属する方および事業仕分け無作為抽出により参加いただいた市民判人であった方々など多くの市民に参加していただく。また、各事業のPDCAサイクルを有効に回していくための建設的な外部評価とし、公開の場で市民の皆さんに事業の必要性を説明する場にもなる公開事業評価を予定。

経済福祉常任委員会

3月17日、審査を託された平成26年度一般会計予算など6議案を審査し、原案どおり可決しました。

■平成26年度一般会計予算

問 がんばる中小企業応援事業補助金が1000万円ほど増額となっているが、理由は。平成24年度からコーディネーター制度で企業を巡回しているが、巡回状況は。
答 新年度は専門家相談と研究開発への支援を追加し、補助事業を拡充する。企業巡回は、昨年の10月から2人体制とし、訪問企業は2年間で160社余りとなる見込み。各種補助制度のPRもしており、

利用する企業も増加している。

3月定例会に提出された議案などの審議結果

◎安政会13人 ◎市政クラブ6人 ◎新政みどり5人 ◎公明党2人 ◎共産党2人 ◎新社会1人 ◎新自民の会1人

Table with columns for item number, description, result, and party votes (安政会, 市政クラブ, 新政みどり, 公明党, 共産党, 新社会, 新自民の会). Includes items 1-44 and 1-3 for council member appointments.

※議案名と会派名は、一部省略して記載しています。(公明党⇒公明党安城市議団 共産党⇒日本共産党安城市議員団)

会派別賛否(○賛成、×反対)

問 市保健センターで実施してきた人間ドックは、平成26年度から市内4カ所の健診センター(八千代病院、アイエムクリニック・安城、三河安城クリニック、安城更生病院)に委託して実施することになった。利用者の見込み数は。
答 身近な健診センターで土曜日にも受診でき、利便性が向上するため、平成24年度の2割増、約3500人の利用を想定している。

市民文教常任委員会

問 市保健センターで実施してきた人間ドックは、平成26年度から市内4カ所の健診センター(八千代病院、アイエムクリニック・安城、三河安城クリニック、安城更生病院)に委託して実施することになった。利用者の見込み数は。
答 身近な健診センターで土曜日にも受診でき、利便性が向上するため、平成24年度の2割増、約3500人の利用を想定している。

問 公共の場所における防犯カメラの画像データについて、「本人から開示を求められたときは、(中略)開示するよう努めなければならない」とあるが、個人情報保護条例により開示すべきでは。
答 開示を求められた前後の時間帯に犯罪などが発生し、捜査に關わる可能性があると判断されたときは、開示を見合わせる必要があるが、原則は開示をする。

問 衣浦東部広域連合共通経費負担金が、平成25年度14億1900万円余から、15億6300万円余に増額となった理由は。
答 平成23、25年度の3年間は駐車場防犯カメラ設置補助を実施し、48カ所148台を設置。平成26年度からは新たに街頭防犯カメラ設置補助に変更し、補助対象をこれまでのマンションやアパート、商業施設など民間中心から、町内会に限定したため。



大池公園の防犯カメラ

問 ICT推進モデル校を設定し、電子黒板とタブレット端末機などを導入した教育のクラウドシステムを構築することについて、どの程度検討しているのか。
答 平成26年度に研究グループを立ち上げ、ICT機器の有効な活用方法やその効果について情報収集をする。それをもとに、ICT機器を活用した授業などの調査研究を進めていく。

建設常任委員会

問 利用客が減少している名鉄バス2路線に対して補助を出しているが、増額傾向にある。対策は。
答 あんくるバスの路線を名鉄バスと競合しないように配慮した。名鉄が行っているバス運行事業を市が担おうとすると相当の費用がかかるため、引き続き補助を継続していく。

問 あんくるバスが今年10月から73便から132便になる。乗客1人当たりの市の負担額は。
答 1人1乗車につき286・3円を市が負担している。



新安城駅南駐車場

代表質問のあらまし

所属議員3人以上の会派の代表者3人が代表質問をしました。質問と答弁の一部を要約して、質問順に掲載します。



安政会 竹本和彦議員

境づくりを軸に据え、次期総合計画における新たな都市像について検討していく。

平成26年度当初予算編成について

問 安政会の要望に対し、また、市長マニフェスト仕上げの年として、予算編成上、どのような点に留意したのか。

答 多くの予算要望に応えることができています。要望は、市民の幸福や安全安心につながる内容で、私の思い描く市政の姿とも合致し、より良い市政運営ができると考えています。予算執行を通して安城市に住み続けたいと思える、魅力あるまちづくりに努めます。

自治体シンクタンクについて

問 安城市の未来を先見のかつ大局的な視点で考える、県内初の自治体シンクタンクには大いに期待しているが、平成26年度以降、どのような研究をしていくのか。

答 準備室における半年間の研究成果を活かし、市民が家族の絆を大切にしながら安心して暮らし続けることのできる安城市の実現に向けた調査研究を進めていく。また、市民一人一人が生涯にわたり心身ともに健やかに地域社会の中で幸せに生活することができる環

在宅医療・介護の連携について

問 本市の在宅医療の現状をどのように考えているか。

答 在宅医療は、夜間・休日を含めた24時間365日の対応など医療従事者に重い負担感があるので、担い手の確保が難しい現状にある。一人でも多くの医療従事者に在宅医療を担ってもらい、在宅で療養される高齢者に医療と介護のサービスを一体的に提供する地域包括ケアシステムの整備が急務である。

在宅医療連携拠点推進事業の事業内容は。

答 在宅医療従事者の負担軽減、医療と介護の連携強化策の検討や、レスパイトサービス・医療介護連携相談窓口の検討、在宅医療の普及啓発活動などを行う。



市政クラブ のばよしのり 野場慶徳議員

中心市街地拠点整備事業について

問 募集要項の中に「本事業は、公共と民間とのパートナーシップにより、中心市街地の活性化などを図ることを目的として実施する」とある。今回、どのような地域活性化策が提案されているのか。

答 工事の発注、資材・物品の調達、各種サービス、人材雇用などにおける積極的な地元活用や、地元団体と連携したイベントの開催などの取り組みが計画されている。さらに、暮らしのサポート機能を強化するスーパーマーケットやカルチャースクールの出店予定などの地域活性化策が提案されている。

問 図書館をICTを駆使した最先端の情報拠点とするためのデジタルコンテンツの開発などの取り組み方針は。AR(拡張現実)という最新情報技術の導入計画は。

答 平成26年度予算では、新美南吉と山崎延吉をテーマとした電子書籍2作品を作成する。ARでまちなかや観光施設などに誘導する「AR安城ナビ」の一つとして「安城昔の写真帳」の開発を進める。ARの観光・交通案内や防災情報

などへの応用を調査研究していく。

スマートシティを目指したまちづくりについて

問 都市の低炭素化には、電力だけでなく熱エネルギーや交通システムなどを含めた新社会システムであるスマートシティの構築を目指すべきと考えるが、市の対応は。

答 「まち・住まい・交通の創着省エネルギー化モデル構築支援事業」を国土交通省に民間事業者と共同で提案することを考えている。

新安城のまちづくりについて

問 踏切での渋滞など地域課題の抜本的な解決には、名鉄名古屋本線の高架化が最も有効だが、市の考えは。また、名鉄が行う駅舎の橋上化整備計画の状況はどうか。

答 名鉄本線の高架化には駅周辺での家屋移転を伴う再整備が必要であるが、将来を見据えた研究課題とする。新安城駅の橋上化では、北部地域の重要な拠点として、名鉄とは駅舎建設の費用負担割合について、国・県とは国庫補助事業の手続などについて協議している。

◆このほかの質問：当初予算、総合計画、予防接種、生涯学習、廃棄物処理、ICT推進、産業振興

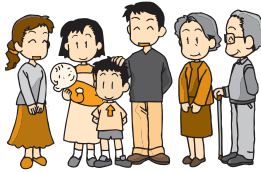


新政みどり さかべたかし 坂部隆志議員

幸せを実感できるまちづくりについて

問 平成26年度予算編成方針に「幸せを実感できるまち・安城を目指します」とあるが、どのような取り組みを進めていくのか。

答 全ての人が社会に参加しやすい生活基盤を整えるとともに、賑わいにあふれた市街地の形成と、豊かで生きがいのある長寿社会を実現する政策をみらい創造研究所を中心に調査・研究していく。



新規企業立地および工業用地の確保について

問 企業経営者から工場拡張や移転に対する用地を求める声が多く、本市に進出意欲のある企業があるにも関わらず立地に至っていない。また、工場緑地面積率の緩和による土地の有効活用も必要と思うが、どのような考えがあるのか。

答 最近の企業立地の動向やその要因分析により、企業立地の可能

要因分析により、企業立地の可能

安全・安心なまちづくりについて

問 大規模災害の発生を想定して策定した業務継続計画において、見えてきた課題と重点的に進めべき防災・減災対策の見解は。

答 大きく5点あるが、その中でも常設型の災害対策本部の設置と庁舎の天井など非構造部材の耐震診断および対応の実施であり、今後対応を検討していく。

子育て支援策の拡充について

問 子ども子育てのニーズ調査では、低年齢児保育の拡充と放課後児童クラブの小学校4年生以上への拡大を望む声が多いが、どのような対応を検討しているか。

答 低年齢児保育については、平成26年度は公立保育園で保育定員を120人拡充し、民間事業者への支援も引き続き行っていく。放課後児童クラブについては、対象学年拡大に向け、施設整備および人員確保を図っていく。

一般質問のあらまし

質問と答弁の一部を要約して、質問順に掲載します。



安政会 近藤正俊議員

減反廃止に伴う本市農業の考え方について

問 減反廃止に伴う今後の安城の農業をどのように考えているのか。

答 国は、平成30年を目前に、生産者や集荷業者、団体が中心となって需要に応じた生産調整をしていくとしている。本市では、食料・農業・交流基本計画により諸施策を推進しており、米・麦・大豆を中心に、需要のある作物生産を進めてきた。飼料用米など需要がある作物の導入を進める。



農地中間管理機構について

問 農地中間管理機構が実施する農地集積とはどのような制度か。

答 農地の流動化の促進を図るため、農地の出し手と受け手の利用権設定を行い、担い手に農地を集積するもの。農地の出し手に対する支援として、機構集積協力金の交付が受けられる。10年以上機構に貸し付けることなどが必要。



市政クラブ 太田安彦議員

歩道舗装の管理について

問 生活道路や通学路でもある歩道に植栽されている街路樹の根が成長して、舗装面を押し上げて盛り上がり、安全な通行に支障を来しているが、対策は。

答 職員によるパトロールと市民からの通報から把握し、対応している。新たに植樹する場合は、現状に合った植栽方法や樹種を検討する。



木の根で盛り上がった歩道



新政みどり つじやまひであき 辻山秀文議員

ドライブレコーダー設置

問 交通安全、犯罪抑止効果が期待できるドライブレコーダーを市の公用車や青パト、あんくるバス、消防分団の消防車両へ設置しては。

答 ドライブレコーダーを設置することにより「運転の見える化」が可能になり、事故の減少が期待でき、防犯対策にも大変有効であると認識している。消防分団の消防車両を含め、既存車両は平成27年度までに全車に設置する。



公用車のドライブレコーダー

感震ブレイカー設置補助

問 南海トラフ巨大地震による本市の被害想定は、焼失建物棟数約4100棟、火災による死者数約60人である。他の自治体では、電気火災を防ぐ感震ブレイカー設置補助の動きがあるが、市の考えは。

答 いまのところ補助を行う予定はない。感震ブレイカーの設置は通電火災抑制に効果があると考えられており、今後の検討課題としたい。

◆議会を傍聴しませんか

本会議や委員会は、当日受付で氏名・住所を記入するだけで傍聴できます。手話通訳や要約筆記を希望する人は、傍聴予定日の5日前までに申し込みしてください。また、本会議場では、FM補聴システムを導入しています。誘導コイル付き補聴器を使用している人は、音声が聞き取りやすくなります。詳しくはお問い合わせください。



傍聴席には車椅子用のスペースもあります



安政会 たけだふみお 武田文男議員

保育園の施設整備について

問 実施計画の中に、「老朽化の進む園舎の改築を行います」とある。みのわ保育園も湿気などにより、壁や床が激しく損傷しているが、改築予定はあるか。

答 移転も含め、地元町内会と相談し、できるだけ早く改築を検討する。改築後は保育需要が増加している低年齢児保育も新たに実施する予定。

地震体験装置を用いた小学生の防災体験学習について

問 市内のNPO法人が教室内で揺れを体験できる安価な簡易型地震体験装置を発明した。学校での防災教育に活用したらどうか。

答 地震体験装置を用いた学習は子どもたちが実際の揺れを感じ、地震の怖さや、揺れたときにどんな行動をとるか考えることができると期待している。市民団体の協力を得て、実際の揺れを体験できる学習も取り入れていきたい。



簡易型地震体験装置



共産党安城市議員団 みやがわかねひこ 宮川金彦議員

あんくるバスの改善を

問 あんくるバスで古井住宅や古井新町から安祥福祉センターに行くのに約40分かかかる。10月からの運行見直しで改善がされるのか。

答 今回の見直しで、行き帰りと約7分にも約7分に改善する。



安祥福祉センター前のあんくるバス

定期券値上げの中止を

問 あんくるバス見直しで、運行時間の延長などで利用しやすくなる一方で、定期券(一カ月)を2倍の2000円にするとしている。消費税の増税や年金の引き下げなどで市民の生活は厳しくなる。定期券の値上げは中止できないか。

答 見直しで運行経費が従来の約2倍となる。受益者負担の観点から、運行経費に対する運賃収入の割合を現行と同程度確保するため必要と判断したので、ご理解ください。



安政会 ながたあつし 永田敦史議員

シティプロモーションについて

問 シティプロモーションに活用する地域資源について、歴史や偉人のみならず「七夕まつり」や「もりのづくりのまち」なども用いてはどうか。

答 本市には、観光振興に寄与するものや経済活性化に貢献するもの、住民交流を促進するものなど郷土愛の醸成につながる多くの地域資源があるので、それらに関する知識や情報を市民と共有し、シティプロモーションにつなげていきたい。



「きーぼー」

幼保一元化について

問 幼稚園・保育園の垣根を取って、就学前の子どもの教育・保育を均一的・一貫的に行う認定こども園へ移行すべきでは。

答 認定こども園への移行を始めとする具体的な議論を深めていきたい。

安全安心メールの拡充について

問 犯罪情報も追加しては。

答 住宅対象侵入盗などの情報配信の内容を検討していく。



安政会 すきうらひであき 杉浦秀昭議員

新たなまちづくりについて

問 南明治土地画整理事業の特徴となる施策は何か。また、「歩いて楽しいまちづくり」につながる具体的な取り組みは。

答 南明治地区を含むJR安城地域は「安城市の都市拠点にふさわしい、魅力と活力あふれる生活文化に満ちたまちづくり」を地域づくりのテーマと定めている。そのためには、都市機能を集積し、居住人口の増加と商業の振興を図ることが必要であり、これがまちづくりの目標でもある。施策を総合的に推進し、中心市街地活性化基本計画に掲げる基本理念「にぎわい・こだわり・環境のまち」の実現に努めていく。

「歩いて楽しいまちづくり」では、当地区は新美南吉をモチーフとしたまちづくりを継続していく。物語性をもたせ、人々が散策しやすくなるような道づくりを考えている。追田川沿い308mの区間には、ゆったり歩いたり、休憩したりすることができ遊歩道「追田プロムナード」を整備するほか、ベンチなどを置いたポケットパークを地区内5カ所に整備する計画。



共産党安城市議員団
深谷恵子議員

暖房器具の維持管理を

問 6年ほど前から石油ファンヒーターが壊れたまま修繕されていない中学校がある。早期に原因を調査し、修繕するべきでは。

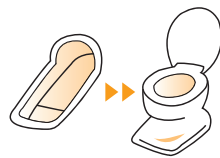
答 各学校配分の修繕費の予算の中で対応が原則。台数が多い場合などは総務課が対応する場合もあり、学校と協議していく。また、平成24・25年度に石油からガスへの交換の要望があったが、配管工事など大きな費用がかかることから現在のところ考えていない。

小中学校トイレの洋式化早急に

問 小学校8校、中学校4校が洋式化計画が未定。早急に整備を。

答 少しでも早い時期の改修を目指し、実施計画で検討するが、工事が夏休み中心となることや、入札の条件を市内業者であることとしており、これ以上の短縮は難しい。

◆このほかの質問：地域支援事業、特別養護老人ホームの機能重点化、健康づくり、太陽熱の利用促進、公共施設への太陽熱利用



行政調査報告

※紙面の都合上、前号に掲載できなかった分を掲載します。

*議会運営委員会

●日程 11月13日～15日

●訪問先および調査事項

○新潟県新潟市を訪問し、議会基本条例、議会報告会、議会改革推進会議について調査した。平成23年4月に議会基本条例を施行し、平成24年度から議会報告会を市内8会場で年2回開催している。より多くの市民が参加できる開催形態やPR方法を課題としていた。

○埼玉県所沢市を訪問し、議員定数のあり方に関する審議会、議会事業報告書について調査した。審議会は、議員定数の算出根拠を明確にし、より客観的な審議をするために設置され、大学教授や公募市民などで構成された。全議員へのアンケート調査やヒアリングなども実施した上で答申をしていた。

○神奈川県逗子市を訪問し、議場でのタブレット端末の実証実験について調査した。平成24年度にタブレット端末9台による実証実験をし、平成25年度から正式導入された。資料の印刷費や人件費の削減効果などを見込んで導入計画を立てた点は参考になった。



安政会
二村 守議員

廃食油のリサイクルについて

問 バイオディーゼル燃料(BDF)を使用し、ごみ収集車で実証実験してはどうか。

答 使用済みてんぷら油のリサイクルとBDF燃料の使用を合わせて行うことは、資源循環型社会の形成に寄与できることから、BDF燃料の実証実験を検討していきたい。



メルヘン号はBDF混合燃料で走行しています(デンパーク)

埋蔵文化財調査事業について

問 桜井古墳群には多くの古墳があるが、今後どのように保護、保存していくのか。

答 桜井古墳群は、二子古墳、姫小川古墳の2つの国指定史跡を含む20基余りの古墳が集中する、歴史上および考古学上でも注目される地域である。貴重な文化遺産を後世に伝え、顕彰する必要があるため、平成26年度に検討委員会を立ち上げ、桜井古墳群保存整備活用構想を策定し、今後の方向性について議論していく。

全議員研修会を開催

12月19日、毎日新聞論説委員の人羅格氏をお招きし、「ネット選挙時代にどう向き合うか」と題した講演を聴講しました。7月の参議院議員選挙で解禁となったネット選挙の効果分析などに熱心に耳を傾けました。

◆参加者の意見・感想など

- ネット選挙は始まったばかりで不確定な部分も多いと感じた。
- ネットの必要性は感じるが、使いこなせるか心配。
- ネットが苦手という理由で使わないと、置いてけぼりになると思った。
- ネット選挙について知識を持たなければならぬと思った。



全員協議会・委員会などの活動状況

*全員協議会

● 2月27日 社会福祉協議会と都市農業振興協会(デンパーク)の平成26年度事業計画・収支予算について説明を受け、質疑をしました。



公明党安城市議員団
今原康徳議員

地域防災について

問 古いブロック塀や組積造の塀門柱などの点検表を配布し、注意喚起を促し、安全な避難路の確保が必要と思うが、市の考えは。

答 自己点検表を作成し、ウェブサイトに掲載や防災訓練などで啓発に努める。

地域包括ケアシステムについて

問 地域包括支援センターの役割は重要であり、地区社協と同様8カ所必要だと思うが、市の考えは。

答 平成28年度開館予定の(仮称)明祥地域複合施設内に市内3カ所目の地域包括支援センターを設置予定。在宅介護支援センターを活用した3カ所体制での状況を見て、増設が必要か検討する。

問 認知症の初期に対する支援は必要だと思うが、市の考えは。

答 八千代病院が認知症疾患医療センターの指定を受け、専門家が治療相談を行っている。認知症初期集中支援チームの設置は、同病院の協力を得ながら検討していく。

*総務企画常任委員会

● 1月10日 部会を開き、職員手当の不適正な受給に係る職員の処分について報告を受け、質疑しました。

● 3月18日 部会を開き、市税条例の改正などについて説明を受け、質疑しました。

*経済福祉常任委員会

- 1月30日 部会を開き、衣浦東部ごみ処理広域化計画の改定案について説明を受け、質疑しました。
- 2月26日 部会を開き、社会福祉協議会と都市農業振興協会(デンパーク)の平成26年度事業計画・収支予算について説明を受け、質疑をしました。
- 3月17日 部会を開き、国民健康保険条例の改正について説明を受け、質疑しました。

*市民文教常任委員会

● 3月14日 部会を開き、業務継続計画(BCP)について説明を受け、質疑しました。

*議会運営委員会

● 2月25日・3月19日 第1回定例会の議事運営を協議しました。

*議会基本条例策定特別委員会

● 1月9日・2月19日・3月14日 条例案について協議しました。



新社会
石川 翼議員

秘密保護法の市への影響

問 秘密保護法は、秘密を扱う人だけでなく、家族も適正評価の調査対象となる。安城市に住む家族に関する情報を、市が国に提供することはないか。

答 国会答弁で「家族に関する情報については、通常の人事管理事項として本人から申告させるもので、それ以上の調査をすることを予定していない」としていることから、国から市に照会されることはないものと思われる。

市民会館文化鑑賞事業のチケット販売方法

問 完売が予想される催しでは、民間のチケット販売業者へ割り当てることをやめ、市民会館や市内前売所のみで販売してはどうか。

答 発売日に販売所へ来られない人にも購入機会を提供するため、チケット販売業者も採用していく。



市民会館サルビアホール

*エネルギー政策特別委員会

- 2月13日 株式会社デンソー本社を訪問し、まち・住まい・交通の創着省エネルギー化モデル構築支援事業について調査しました。
- 3月17日 平成25年度調査研究結果報告書(案)について協議しました。
- 3月24日 調査研究結果報告書(案)について協議しました。

*防災対策強化特別委員会

● 3月12日 業務継続計画(BCP)、平成25年度実施事業、平成26年度主要事業について説明を受け、質疑しました。

*マナー条例制定プロジェクトチーム(PPT)

7月18日、市民のモラルやマナーの向上を目指した条例制定を目的として、議員9人で構成するプロジェクトチーム(PPT)を設置しました。たばこの吸い殻やごみのポイ捨て、路上喫煙防止に重点を置き、検討・協議を進めています。

1月20日・21日には、先進市である東京都東村山市と千葉県柏市を訪問し、実効性のある条例について調査しました。今後、市民アンケートや関係団体からの聞き取りなどを予定しています。

議員定数2名減の28人に
平成27年実施予定の次期
一般選挙から適用

■議会改革検討委員会での協議

議員定数の削減について、平成24年6月1日に議長から議会改革検討委員会に諮問されました。

平成24年度には7回の会議を開催し、安城市における適正な人数を検討・協議し、1名以上の削減をする必要があるとの結果になりましたが、削減数については継続協議とし、次年度に決定することとしました。

平成25年度には8回の会議を開き、削減数について協議した結果、全委員の意見の一致には至りませんでした。2月25日に議長に答申しました。

●答申内容 議員定数は、近隣市および類似団体との比較ならびに社会情勢を鑑み、現定数から2名減とされた。



竹本委員長(右)から松浦議長へ答申書を提出

■3月定例会で条例改正案を可決
3月24日の本会議において、議員提出議案として議員定数を2人削減する改正案が提出され、賛成・反対討論を行った後、採決した結果、賛成多数で可決されました。

【議案の提案理由の説明(抜粋)】

これは、行政改革の視点、近隣市の状況、世論など諸般の情勢を勘案し、議員定数を見直し、現行の30人から28人に改めるものです。各自治体は、将来を見据え、事業の見直し・改善・廃止・統合など、行政改革を徹底し、社会変化に対応できる持続可能で安定的な行政経営を目指しています。

議会改革検討委員会では、平成24年度から25年度にかけて継続的な審議を行った結果、全委員の意見の一致という訳にはまいりませんでした。行政が行政改革を進めている中、議会も自らを律し、スリム化、効率化をすべきであり、世論や近隣市などの状況から、議員定数を削減することが必要であるとする意見が多数となりました。単に議員定数を削減すればいいということではなく、議員一人一人がこれまで以上に市民の意見・要望を市政に反映し、市議会議員の役割を市民の方々に広く知っていただく努力が必要であると考えています。

5月臨時会の開催予定

5月12日(月) 午前10時から(予定)

6月定例会の開催予定

- 6月6日(金) 開会
- 9日(月) 一般質問
- 10日(火) 一般質問
- 11日(水) 一般質問予備日(※)
- 12日(木) 議案質疑
- 16日(月) 建設常任委員会
- 17日(火) 市民文教常任委員会
- 18日(水) 経済福祉常任委員会
- 19日(木) 総務企画常任委員会
- 25日(水) 閉会

●開催時刻はいずれも午前10時の予定です。
※一般質問予備日に開催する場合は、市公式ウェブサイト「市議会のページ」の「会議予定」でお知らせします。
●請願・陳情の提出締切りは、5月28日(水)です。

ケーブルテレビの録画放映

6月9日(月)・10日(火)・11日(水)(※)の一般質問の様子が、キャッチネットワーク106チャンネルで録画放映されます。

【放映日】 9日収録分 → 13日(金)午後6時

10日収録分 → 17日(火)午後6時

11日収録分 → 26日(木)午後6時(※)

※26日は会議が開催された場合のみ放映。

市議会だより編集委員会

◎ = 委員長 ○ = 副委員長

- ◎杉山 朗 ○近藤之雄
- 石川 翼 今原康徳 松尾学樹 鈴木 浩
- 辻山秀文 大屋明仁 杉浦秀昭 深谷恵子

市民の皆さんに、市議会の活動などをわかりやすくお伝えしていきます。ご意見・ご感想をお寄せください。

【発行者】安城市議会 【編集者】市議会だより編集委員会 【宛先・問い合わせ】安城市議会事務局
〒446-8501 安城市桜町18-23 Tel.0566-71-2252 Fax.0566-77-8200 Eメール: giji@city.anjo.aichi.jp